

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
石下地区農業後継者の会

Page 4-12

かけはし一般質問
11月定例会議

Page 12-14

審議案件と結果
11月随時会議
11月定例会議
1月随時会議

Page 15

要望活動・視察研修等

Page 16

常総橋百景「第五景 菅生大橋」

No.236

発行月：2022年2月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





かけはし インタビュー

市議会×石下地区農業後継者の会
代表 菊地^{やす}康^{ひと}等

市議会(以下議会)

「IFC(石下地区農業後継者の会)」とはどのような団体ですか。

代表菊地氏(以下菊地氏)

石下地区の45歳以下の施設園芸、露地園芸、水稲農家等あらゆる農業に関わる農業後継者で構成しており、現在の会員数は31名になります。JA常総ひかりが事務局としてサポートをしてくださり、各企業(肥料、農薬、種苗など)がIFCサポートプロジェクトチームとして、農業サイクルに応じてバックアップ体制を整えてくれています。地域農業の発展を目指し「地域の農業・食は地域で守る」というコンセプトのもと、肥料や農薬、税金などの勉強会や県外視察研修会、結婚活動などを通して若い世代で意見交換を行っています。

議会

農業を始めたきっかけと経営方針を教えてください。

菊地氏

私の家は元々農業をしており、白菜、キャベツ、レタスなどの葉物野菜をメインに生産をしていました。兄が農業を継がないということで、24歳の時に一年ほど外で修業をしてから家業を継ぎました。私は農業が好きで、ずっとやりたいと思っていたので、チャンスだと思いました。修業先で、生産者の方たちが色々考え方をもって農業をされているところに面白さを感じて、私も自分の農業を教えられたらと思い「菊地農園塾」を始めました。



今は、農業に興味のある方を研修生として受け入れて、一緒に働きながら栽培から経営まで指導をしています。今までに3名の研修生が独立をして、その内2名が市内で農業を始めています。最初は、独立するにしても「土地もない、機械もない、住居もない」という状態でしたが、農協さんや市役所、地域の方と連携することで独立することができました。これからも、独立を目指して研修に来ている方たちを支援し、次世代につないでいきたいと思っています。

議会

農業のやりがい（楽しさ、喜び、大変なことなど）を教えてください。

菊地氏

初めの頃は、農協さんや市場に出荷するのが主なやり方でしたが、消費者さんの声を聞きながら仕事をすることにやりがいを感じて、27歳の時に自分で販路を開拓するようになりました。一年一年信用を積み重ねて、十年くらい試行錯誤をして今があります。なかなか気付かないかもしれませんが、茨城県南で農業をやることはとても恵まれていて、栽培に適した良い土地もありますし、50キロメートル圏内に商圏もあります。そこに気が付くと、農業のやりがいはいはもつと広がるはずで、販売も視野に入れて攻めの農業をしていくことは、需要と供給の情報を密に把握して、時代に合わせて変化できるので楽しいです。この辺りは若い後継者の方も多く、切磋琢磨しながら色々なことに挑戦しています。眠れない



ぐらい大変なこともあります。苦勞を知らないとなれば悪い時もあるという農業の大変さを経験していくと、十年後には楽しい農業が見えてくると思っています。

議会

どんな農業を目指していますか。

菊地氏

昔から農業には「きつい、汚い、危険」という3Kと呼ばれるイメージがあって、そのイメージを変えたいと思っています。今はデジタル化が進んでいて、私も実際にスマートフォンを使って作業の効率化を図っています。第一線で農業をしている私たちが、明るく楽しく生きがいをもって働いている姿を見せて、子どもたちにとっても魅力のある職業となるように、「未来ある楽しい農業」をしていきたいです。

（令和3年10月インタビュー）



ホームページ
QRコード



※写真撮影時のみマスクを外していただきました。市民インタビューは感染対策を徹底して行っております。

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

アグリサイエンスバレー構想の都市公園の進捗状況について伺う。

産業振興部長

現在、工事が進んでいる首都圏中央連絡自動車道の4車線化工事の作業スペースとして、令和3年6月から令和6年度末まで用地を国土交通省に貸し出し、工事に協力をしている。すでに、市と国で覚書を交わし、維持管理等を含めて国に用地を引き継いでいる。都市公園の整備時期については、道の駅オープンを含めた事業全体のまち開きの約2年後、令和7年度の整備になる。今後は、道の駅や民間集客施設並びに観光農園との相乗効果が図れ、人がにぎわう公園となるよう、様々な意見を聞きながら整備していきたい。

議員

私が令和3年2月に一般質問したインクルーシブ公園について進捗状況を伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長

茨城県で初と認識しているが、笠間市の笠間中央公園などのインクルーシブ遊具を実際に視察した。



柳井 真吾 議員

質問

アグリサイエンスバレー構想の都市公園について

答弁

道の駅や民間集客施設並びに観光農園との相乗効果を図り、人が賑わう公園を整備していきたい

また、東京都が出している施設整備のガイドラインなどを通して研究をしている。引き続き、現地視察も含め、誰でも安全に使用できる施設導入について、関係部局を含め、全庁的に検討していく。

議員

私が以前より要望してきた都市公園のドッグラン併設について市の考えを伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長

現代社会において、コロナ等の影響により、動物に癒しを求める方も少なくないと思われる。そのような方にも楽しんでいただける施設として整備できれば、当市へ来ていただくきっかけにもなり、まち全体のにぎわいにもつながっていくと考えている。さきのインクルーシブ公園と併せて、前向きに検討していく。

議員

令和7年度の整備まで、約3年という時間ができたことをチャンスと捉え、まち全体で相乗効果が得られ、多くの市民の皆様が笑顔で集えるような都市公園の整備をお願いしたい。

柳井議員の質問動画



【インクルーシブ公園】 インクルーシブとは「包み込む」「包括的な」という意味で、障がいのある人もない人も分けずに包み込もうという概念であり、障がいの有無にかかわらず、子どもたちが安全に、みんな一緒に遊ぶことができる公園のこと

【イノベーション】「何か新しいことに挑戦すること」、「停滞した状態から変革をおこすこと」といった意味
【ダイバーシティ】「多様性」、「相違点」、「多種多様性」といった意味



石塚 剛 議員

質問 SDGsの進捗と今後の計画について
答弁 SDGsの理念で持続可能なまちづくりに取り組んでいきたい

石塚議員の質問動画



議員

当市のSDGsの取り組みについて伺う。

市長公室長

じょうそう未来創生プラン施策と合致すると捉えている。また、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略にSDGsを原動力とした地方創生の施策を掲げている。

議員

SDGsを踏まえ、持続可能なまちづくりについて伺う。

市長公室長

SDGsの中で持続可能なまちづくりへの挑戦は必要不可欠であり、本市の地方創生に向け、市民や企業と共に取り組んでいきたい。

議員

誰一人取り残さない社会を目指して、持続可能な開発目標と当市の目指す未来都市像「みんなであつくる幸せのまち常総」について、市長の考えを伺う。

市長

次代、特に今の子どもたち、これから生まれてくる子どもたちが、常総市で生活していきたいと思ってもらえるような環境をつくるこ

とが市長の責務と考える。新しいものを取り入れる、自分と違った価値観の人を受け入れる、そこから新しいものを作り上げていく、イノベーションを起こす土壌が大

事である。民間企業は、ダイバーシティ、SDGsにかじを切ろうとしており、市民のニーズの変化

こういうものに応えられる行政組織としての変化が求められている

と確信している。

これからの時代に向けた変化の時期、各種制度等、的確に捉えな

がら、市としても新たな施策を打っていきたくと考える。

議員

今後の自治体は、施策を掘り出して、社会全体の連携で新たなガバナンス構築をしていくことが期待され、官民連携のほか、行政の垂直連携と水平連携が非常に大切だと考える。

SDGsを通して、誰一人取り残されなため行政サービスと体制づくりを改めて願います。

議員

SDGsを通して、誰一人取り残されなため行政サービスと体制づくりを改めて願います。

SDGsを通して、誰一人取り残されなため行政サービスと体制づくりを改めて願います。



17 GOALS



吉原 晴照 議員

質問 公共施設の管理体制について
答弁 包括的なファシリティマネジメントをしていく

吉原議員の質問動画



議員

公共施設の統括管理部門である資産活用課の役割と管轄部門との業務フロー及び休止している施設の管理について伺う。

総務部長

公共施設は、行政サービスごとに設置条例を定め、施設所管課が行政財産として管理している。行政目的が終わった施設は、常総市財産管理規則を基に普通財産として資産活用課が引継いで管理していく。

議員

今後活用の見込みが無ければ解体の計画をすべきと提案する。次に、公共施設の予算措置について、優先順位の決め方を伺う。

総務部長

今年度から導入した常総市営繕工事事前協議制度で事業評価を行い決定している。また、財政部門の視点と営繕及び公共施設マネジメントの視点から評価し、優先順位を決定している。

議員

休止している保育所と幼稚園の跡地活用の今後の計画を伺う。

資産活用課長

対話型市場調査等での意見を踏まえて検討している。

議員

小中学校の施設の修繕計画と進捗状況を伺う。

教育部長

委託のFBS・前田建設共同事業体からの毎月定期点検報告書を基に不具合箇所優先順位をつけて修繕業務を進めている。

議員

定期検査報告書を基に対応しているとの事だが、担当者が自ら三現主義を重視し、安全第一を心がけた対処を提案する。

市長

全体的な公共施設の利用、様々な地域的交通網の利便性も考えて、包括的なファシリティマネジメントをしていく考えである。

議員

公共施設の管理は資産活用課が縦組織に横串を通し、窓口として一元管理することをお願いする。

【その他の質問】

★常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会について



草間 典夫 議員

質問 通学路安全点検後の改善要望箇所への安全対策は？
答弁 各関係機関が、可能なものから速やかに順次対策を講じていく

草間議員の質問動画



議員

今年度行った「通学路安全点検及び通学路改善要望調査」の結果について伺う。

教育部長

市内を東西に分けて隔年で実施している安全点検を、今年度は市内小中学校全校を対象として実施した。その結果、危険箇所として143件の報告があった。

改善要望の主な内容は、道路際の除草、白線や路面標示の引き直し、道路の修繕、ガードレールや歩道の設置、信号機の設置など多岐にわたっている。

議員

これらの報告された改善要望箇所の危険度については、どのように整理をしているのか。

学校教育課長

各学校から危険箇所の優先順位をつけて報告いただき、それを基に「常総市通学路安全推進会議」で対策を協議している。

議員

この通学路安全推進会議における対策協議の結果を受けて、要望箇所の安全対策及び改善を今後どう

議員

のように行っていくのか。

教育部長

継続的に通学路の安全を確保するため定期的な合同点検を実施し、各対策機関による改善要望箇所の検討及び対策を速やかに行うとともに、対策実施後の確認や効果検証を通して、通学路の安全性の向上を図っていく。また、道路の補修や歩道整備などのハード対策と併せて、交通規制や交通安全教育などのソフト対策も検討していく。

議員

道路形状による用地取得問題や道路交通法などの法令上の問題等で解決が難しい箇所もあるが、調査と要望までで終わりにすることなく、ぜひとも形ある対策まで確実に行っていただきたい。

また、通学路の整備と併せて、この安全点検結果を可視化した交通安全指導教材・資料の作成等、ソフト面の充実を通じた児童生徒への安全指導の強化も重要である。そして、今後も緊張感と危機意識のある安全点検が継続できるように、点検調査方法の視点や基準を明確にして実施することを望む。



広瀬 光一 議員

質問 常総市の水害対策について
答弁 国や県、市、民間などあらゆる関係者が連携して流域の治水対策を行う

広瀬議員の質問動画



議員

鬼怒川緊急対策プロジェクトについて伺う。

都市建設部長

国・県・鬼怒川沿川の7市町が主体となつて緊急的な治水対策を行った。鬼怒川堤防の整備、河道掘削工事を筑西市から守谷市までの延長44・3キロメートルを平成27年度から総事業費580億円をかけ実施した。八間堀川は、堤防整備や河道掘削工事を平成27年度から29年度に総事業費23億円を投じ、茨城県が決壊した箇所を中心に実施した。

議員

流域治水と当市の具体的な取り組みについて伺う。

副市長

流域治水として、主に三つの対策を行った。一つ目は、堤防の整備や河川に流れ込む雨水を貯留する等の対応で氾濫をできるだけ防ぐ。二つ目は、氾濫した場合を想定し、被害を回避するためのまちづくりや住み方を工夫し被害対象を減少させる。三つ目は、氾濫が発生した際に確実な避難や経済被害

議員

害軽減、早期の復旧・復興のための被害の軽減である。

また、被害の減少につながる対策として、防災指針を組み込んだ立地適正化計画を策定した。令和3年11月21日には、全国初となるデジタル・マイ・タイムラインのワークショップも実施した。携帯電話で防災情報を共有できれば、避難の実効性が高まると考える。

議員

令和3年に八間堀川の決壊した現場の西側で堤防が崩れ、今はトンネルなどを並べた整備状況であり、このままでは台風や豪雨の度に不安である。一刻も早く、八間堀川西側の堤防整備をお願いする。将来的には、八間堀川のさらなる幅及び河川の掘削、浚渫（しゅんせつ）工事を行わなければ安心して生活することはできない。また、鬼怒川の水位を下げるためにも、ぜひ鬼怒川の支流、バイパスを検討するべきだと考える。



飯島忠 議員

【質問】 公共施設内のバリアフリートイレの設置と改修について

【答弁】 バリアフリートイレの設置、洋式化に向けた取り組みを検討する

飯島議員の質問動画



議員 アグリサイエンスバレー構想が完成するにあたり、市内観光、買い物を楽しむ人が多数来場する。おもてなしの一つにきれいなトイレ、障がい者の方々が利用出来るバリアフリートイレの整備と設置が必要である。当市の見解は。

議員 ーサルデザインの取り組みや学校老朽化による修繕、適正配置の動向と併せて、多機能トイレの設置についても考えていく。また、福祉避難所だけではなく、車椅子に対応した多目的トイレのレンタルも可能となっている。

教育部長 アグリサイエンスバレー構想が完成した際には、市内の観光施設に多くの観光客の来場が見込まれることから、今後は市内観光施設のみならず、各施設を所管する関係課と調整を図りながら、バリアフリートイレやトイレの洋式化に向けた取り組みを検討していく。

議員 レンタルトイレが設置されるまでの間、どのような対応をするのか考えていただきたい。また、国土交通省は、令和3年に多目的・多機能トイレの名称を変更するようバリアフリー設計の指針を改正した。当市の対応は。

議員

各施設のトイレの中には、機能不足、トイレまでの通路に段差があり車椅子が通れない等の不備が見られる。また、災害時の避難所のトイレについても同様である。高齢者や障がい者の方に避難所へ避難を呼び掛けても使用することができない。当市の見解は。

総務部長 啓発ポスター等を掲示して適正な利用を促していく。また、建築設計標準に基づいて、整備を進めていく。

議員

バリアフリー化、ユニバーサルデザインを取り入れ、多様性に配慮して過ごせるまちづくりを目指していただきたい。

【その他の質問】

★豊田サブグラウンド利用の促進

★ヤングケアラー支援



倉持守 議員

【質問】 持続的な市発展のために区域指定と地区計画の見直しを

【答弁】 全面的に見直しを図る中で新たな定住増加策の検討を進めていく

倉持議員の質問動画



議員 常総市の今後の発展を目指すには、東京近郊という地理的条件を活かした人口減少の抑制策、基幹産業の農業の発展や企業からの法人税の増収と就労先の拡大が必要と考える。

まず、常総市の市街化区域及び区域指定の面積を尋ねる。

都市建設部長

市街化区域は6地区で524・1ヘクタール、市街化調整区域における区域指定は23地区で542・9ヘクタールの区域をそれぞれ指定している。

議員

区域指定と地区計画の見直しについて伺う。

都市建設部長

早々に調整を行い着手していく。来年度からは都市計画マスタープランの改定を行い、地区計画の追加及び新規地区計画等の新たな定住増加策の検討を進める。

議員

早急なスピード感を持って見直しをやるべきと考える。ふるさと回帰支援センターによると、1都

3県で約309万人が地方移住を希望しているとの発表もある。区域指定の見直しにあたり、水害危険区域の約200ヘクタールを縮小すると聞いている。定住増加策を検討する上で区域指定の拡大も必要と考えるが市の見解は。

市長

災害ハザードにおける区域指定の見直しは縮小になるが、縮小と同時に拡大する部分も出せればと思う。工業団地や拠点施設へのオファーをいただいていることから、雇用・住宅政策が重要になってくるため、教育・医療・商業施設等を含めた総合的な都市計画マスタープランや区域指定について、全面的に大胆に見直しを図っていく。

議員

今後の区域指定の見直しの中で条例の変更も必要である。指定区域の中にも商業施設も取り入れ、道路や下水道などインフラ整備についても併せて考慮していただきたい。

【その他の質問】

★ごみ袋の配布状況について尋ねる



【地区計画】 都市計画において、開発・建築行為を規制・誘導することにより地区特性にふさわしい市街地を形成するための制度
【区域指定】 市街化調整区域の指定区域内であれば、集落出身要件等を問わず、誰でも住宅等の建築物を建てることができる制度



岡野 一男 議員

質問 アグリサイエンスバレー事業の進捗状況について

答弁 地元の農業に貢献できるような使命感をもって進めていく

岡野議員の質問動画



議員

農地エリア・都市エリアの進捗状況を問う。

産業振興部長

生産面では、(有)大地、(株)たねまき常総、(株)ファームシップの三者がイチゴ、ミニトマト、ホーレンソウを栽培予定で、このうち二者がハウスを建築中である。加工流通面では、(株)ムロオが令和4年開業予定、グッドマンジャパン(株)が令和4年建築予定である。民間集客施設は、施設計画を進めている。

議員

農地エリアの三者は、全部自社で生産を行うのか。

産業振興部参事

三者とも自社で生産する。

議員

アグリサイエンスバレー事業は、農業の生産加工から流通販売まで一貫して行う農業開発であると認識していたが、建築物を見ると、物流が主体と感ずる。

産業振興部長

建物の外観ではなく、進出企業の事業内容が重要であると考えている。企業には本地区の開発コンセプト

トをご理解のうえ、進出いただいた。

議員

進出企業が農業関係以外になる可能性はないか。その場合、監督指導はどうなるのか。

アグリサイエンスバレー整備課長

進出企業の業態については、用途地域や地区計画等で一定の規制が適用されているため、その法規制の下で指導を行っていく。

議員

この事業は、当市の基幹産業である農業を確立し、農業経営の安定を図っていくと期待していたが、企業誘致に偏り、地元農業に還元されないのではないか。

アグリサイエンスバレー整備課長

企業には、構想をご理解いただいている。地元の農家に貢献できるものを作り上げていきたい。

議員

周囲に及ぼす環境問題はあるか。アグリサイエンスバレー整備課長 電波障害が発生したことは把握しているが、早急に対応した。

議員

今後、環境問題を含めて責任を持って指導していただきたい。



坂野 茂実 議員

質問 コロナ禍の経済対策として「制服バンク」の設置を望む

答弁 基準やルールを統一する中で制服バンクを推進していく

坂野議員の質問動画



議員

コロナ禍において、小学校の生活様式はどのように変化したか。

教育長

基本的な感染対策に加え、新しい生活様式を意識した学校生活が定着していると感じている。

議員

新型コロナウイルス感染症による出席停止が不登校を助長したような事例はあるか。

教育部長

新型コロナウイルス感染症拡大時には、出席停止者が100名近くいたが、新型コロナウイルス感染症による出席停止を起因とする不登校はない。

議員

現在、ランドセル症候群による不調に注意が必要という医師や専門家がいる。特に、小学校低学年の児童が、重くて大きいランドセルを長時間背負って登校する際に通学ブルーとなり、不登校が心配されるといふものである。

文部科学省が推奨している「置き勉」を活用することで改善されるが、市では「置き勉」をどのよ

うに進めているか。

指導課長

現在、すべての学校で絵の具や習字用具などの教材や技能教科の教科書や教具を学校に置いていくことを認めており、主要教科の教科書やノートを持ち帰るという状況である。学校ごとに状況が違うので、学期末には計画的に持ち帰るように指導している。

議員

保護者にも「置き勉」を理解いただいて、子ども達が無理のない登下校ができるよう配慮していただきたい。

次に、コロナ禍の対策の一つとして、卒業生から制服の寄付をいただく、在校生に活用してもらうという「制服バンク」を設置してはどうか。

教育部長

5つの中学校で各学校独自の取り組みとして進めている。生徒に物を大切にすることを思いやりの心を育み、教育的・環境的な効果を期待できる。また、コロナ禍における経済面でも有効であり、基準やルールを統一して推進していく。



中村 博美 議員

質問
きれいなまちづくり大作戦に
取り組もう！

答弁
道の駅開業に向けて、きれいな
まちになるよう工夫をしていく

中村議員の
質問動画



議員

令和5年3月にまち開きを予定しているアグリサイエンスバレー構想は、道の駅や民間施設、公園等で様々な取り組みが行える場所であり、市民の皆様は大きな期待を寄せている。しかし、現状は道路に草が生え、ごみが目立ち、市内を回遊して当市の魅力を感じていただけないような環境整備が行き届いていない。令和4年度中に主要道路をきれいに整備し、維持管理できるように市内全域で一斉に草刈りを行うことはできないか。

都市建設部長

市内一斉に草刈りを行うことは難しい。順次、市内の業者に依頼していく。

議員

令和4年度中に、市内一斉に道路の整備管理を行うような計画を考えていただきたい。そして、環境美化に向けて継続的に取り組むことを求める。

市長

市や県の予算には限界があるがしっかりと事業選択をしながら検討していく。道の駅開業は、たく



堀越 道男 議員

質問
豊水橋の歩道の一方通行化を

答弁
道路交通法上規制はできない

堀越議員の
質問動画



議員

私が初当選した昭和54年の議会において真っ先に取り上げた問題が豊水橋の歩道の狭さについてである。市内の鬼怒川に架かる7つの橋の中で一番狭い1.2メートルであるのに対し、最新の玉台橋の歩道は4.5メートルもあり、改めて豊水橋の歩道の狭さを実感した。当時、歩道の拡幅について要望したところ、構造上の問題で歩道の拡幅はできないとの回答で、そのままにされている。豊岡に住む住民特に高齢者にとっては常に危険と恐怖を感じながら、相応の覚悟をもって橋を渡っている。私は、街の繁栄は豊岡なくてはあり得ないと思っている。

議員

自転車は降りて通行するよう注意書きの看板はあるが、守っている人は見当たらない。上流側、下流側にある歩道をそれぞれ一方通行にできないか。

都市建設部長

豊水橋の歩道は1.2メートルと幅員も狭く、歩行者と自転車のすれ違いも難しい状況は認識しているが、構造上、両側の歩道を拡幅す

議員

ると相当な荷重がかかるため、拡幅はできない。通行方法についても、一方通行にするという方法は道路交通法上規制は難しいため、自転車は降車して通行するよう看板を設置し周知している。

議員

300メートルもある歩道を自転車を降りている人は見かけない。住民の外出権の障害になっていることは間違いなく、住民の願いでつけられた歩道なので、やはり独立した歩道橋をつくる以外に解決策はない。豊岡の住民の一人としての市長の考えを聞きたい。

市長

県議の時に豊水橋の下流に人道橋を架けてとお願いした経緯もある。川西と川東の交流、地域経済の部分でも非常に大事な橋であるため、夢を捨てずに継続して県のほうに働きかけていきたい。

議員

夢話ではなく、本当に現実にさせるような運動をお願いしたい。

【その他の質問】

★平成27年9月関東東北豪雨災害支援について★農業問題について



遠藤 章江 議員

質問

コロナ禍で可視化された『生理の貧困問題』における当市の取り組みについて

答弁

8月定例会で配布方針を示し実行中

遠藤議員の質問動画



議員

7月の内閣府による『生理の貧困に係る地方公共団体の取組の調査結果』において、当市を除く、近隣の8市町は何らかの取り組みをしている。当市では取り組みが遅れているのではないか。

福祉部長

当市では、8月定例会で配布の方向性を示し、それ以降の取り組みである。

議員

小中学校での配布の状況はどうなっているか。

学校教育課長

今現在は各小中学校19校全校でトイレ、保健室に生理用品を設置する取り組みを開始している。

議員

『生理の貧困』という、世界で巻き起こっている波に乗って学校のトイレに生理用品を置いて良いのか疑問視している。設置については、教師や養護教諭の意見を聞くなど、現場の理解を得た後に設置を決定したのか。

学校教育課長

設置する場所、設置の方法など

は、各学校に任せている。

議員

教育現場の声を聞いて実施をしていただきたい。生理用品を知らない児童もいる。どの学年で誰が教育するのか、男子生徒への教育は保護者にいつ、どう話をするのか等、各学年、年齢に見合った性・ジェンダー教育を実施した後に設置してこそ本事業が生きてくる。

教育長

校長会、教頭会等で、設置方法等について情報収集をした上でさらに一歩大きく踏み出したという状況である。

議員

ベテランの教師、養護教諭、ジェンダー教育や性教育の専門講師の声を踏まえ、学年に応じた指針を定め、それを基に映像教材を作成して、各学校で放映すれば、学校によるバラつきが起らない教育が可能になると考える。

今後も備蓄品の配布、公共施設等の女性トイレに生理用品の設置を進め「トイレレットペーパーと同じように生理用品が置いてある常総市」を目指していただきたい。



佐藤 剛史 議員

質問

常総市地域防災計画について問う

答弁

大幅改定を行い、業務継続計画を作成した

佐藤議員の質問動画



議員

震災応急対策における初動対応について、非常配備態勢の第3次動員（全職員動員）の内容について伺う。震度6以上が発生し、非常態勢となる第3次動員における人的資源の当市の状況は。

市長公室長

大規模な震災が発生した際は職員が被災し人的資源が不足するケースも多い。平成31年4月に地域防災計画の大幅改定を行い、業務継続計画（BCP）を作成した。

災害時の職員の参集手段に関するアンケートでは、回答職員全体の10・6%において当面参集不可となっている。当面とは3日間を

設定しており、この際の人的資源は受援に頼らざるを得ない状況になる。震災被害の場合、広範囲になることが予想され、受入れにも時間を要することが課題である。

議員

市職員が被災した状況での出勤の課題について伺う。職員の家庭の事情や精神的状況などにより参集が困難なケースも考えられるが、一方で、地方公務員として職務を

遂行する責務がある。当市としての優先順位と考え方は。

防災危機管理課長

アンケート結果では職員の家庭の事情などによる参集困難が主な理由である。職員の初動マニュアルに本人や家族の死傷による自宅待機日数等の指針を明記しているが、精神的状況を勘案していない部分はある。まずは自宅周辺の災害状況の確認と家族を含めた自身の安全確保を第一優先とし、家族に傷害等があった場合や火災、人身事故など緊急対応も予想され、人命救助等適切な措置を講じてから参集とする。道路事情や交通手段の途絶による参集の遅れが発生する場合、すぐに所属長へ連絡を入れる仕組みとしている。

議員

公務員という立場であり、職務規程上全員参集であるが、難しい状況の発生も改めて想定しておかなければいけない。災害発生による混乱時の対応策として情報がしつかりと伝わるのが大切。改めて電話、SNS等も含めた職員間の連絡、通信網の設定と共有を。



茂田 信三 議員

質問

国民健康保険税の増額はNO！

答弁

厳しい財政状況のため、税率等の見直しを行う

茂田議員の質問動画



議員

値上げ必至の国民健康保険税と介護保険料の今後の行政の在り方を問う。

保健衛生部長

医療費は、一人あたり県平均31万9千円。当市は33万2千円。

議員

国民健康保険税は、平均どのくらいの値上げになるか。

保健衛生部長

一世帯当たり8千円程度になる。

議員

それは違う。国民健康保険税を納入できない人もいるから、もっと高額になる。

保健衛生部長

当市は、厳しい財政状況であり、今回税率等の見直しを行う。

議員

基金（一般家庭でいう貯金）は70万円であるが、市によっては数十億円の基金があるという。国民健康保険の方が、1万5千人いるということは、年1億5千万円があれば年間値上げをしなくても済むのである。なぜ基金を積み立てなかったのか。そこに問題がある

る。令和3年は、コロナ禍で医者へ行く方が少なかった。例年であれば、赤字である。

健康保険課長

今後は、さらに厳しい財政運営になる。

議員

将来、当市の人口は4万5千人と予想される。若い人口を増やし、支出を抑える方策をどのように考えるか。

健康保険課長

生活習慣病予防や重複、多剤服薬者への指導通知などの事業を行うことで抑制させる努力をする。

議員

質問をまとめると、一昨年の質問で国民健康保険税の値上げは必ずであると聞いたところ、そうではないと答弁した。その時対策をしていれば、基金を積み立てることができた。道の駅で数十億円使わなければ、そのお金で国民健康保険税の値上げをしなくて済んだ。

議員

これから税金の増収は無理である。人口は減少する。無駄をなくし、人口を増やす努力をしなければならぬ。



大澤 清 議員

質問

公共施設におけるバリアフリー化について

答弁

施設全体のバリアフリー化を念頭に置きながら検討していく

大澤議員の質問動画



議員

水海道森下町の保健センターは集団健診などの会場としても利用されており、子どもから大人、高齢者、障がい者など不特定多数の市民の皆様が利用している。男子トイレについては建設当時そのままの状況であり、屋外については身体障がい者用の駐車場が不備である。利用者から和式トイレの使用が出来ずに困っているとの声を聞いている。今後の方向性について伺う。

保健推進課長

多目的トイレを利用していたたきよう案内しているが、男性トイレの洋式化については、今後、積極的に検討していきたい。

議員

小中学校の体育館にはバリアフリートイレは完備されているか。

学校教育課長

小学校は、14校中1校に設置されている。中学校は5校中4校に設置されている。

議員

特に小中学校は、特別特定建築物に見直されたことから、トイレ

等の改修時には努力義務ではなく、バリアフリー新法に適合される必要がある。また、体育館については災害時の指定避難所になることから、バリアフリートイレの設置を早急に進めるよう強く要望する。

生涯学習課長

今後の施設改修については、トイレのみならず施設全体のバリアフリー化を念頭に置きながら検討していく。

議員

心のバリアフリーについて、学校教育においてもトイレ教育を導入すべきであると考え。どのような人が、どのような理由でバリアフリートイレが必要なのかを身体的ではなく、多様性の視点、SDGsの観点からも考慮することは、重要な学びとなるはずである。誰もが外出しやすいうようにバリアフリー化を推進することは、豊かな社会をつくっていく上で重要な取り組みである。

【その他の質問】

★空き家の利活用現状と今後の取り組みについて

議員

心

議員

心

議員

心

議員

心

議員

心

議員

心



小林 剛 議員

質問 交通弱者の移動手段、コミュニティバスを含めた公共交通網の確立を急げ！

答弁 公共交通網の構築にコミュニティバスは必要。また、民間の公共交通との連携も大事である。

小林議員の質問動画



議員

常総市公共交通活性化協議会の進捗状況を伺う。

市長公室長

協議会では、コミュニティバス・鉄道（常総線）・路線バス・乗合交通ふれあい号・タクシー・福祉輸送を組み合わせた交通網を構築することとし、4月にはコミュニティバスの水海道ルート2台・石下ルート1台の2路線を有償で運行することに承認をいただいた。通勤・通学に利用できるよう朝7時台から夜7時台までの運行を予定している。今後、停留所・運賃などを協議していく予定である。

議員

電気バスの購入に補助はあるか。

常創戦略課長

気候変動や脱炭素などを考慮し、ディーゼル車よりも電気バスが望ましく、導入に向けて補助金を活用したい。

議員

コミュニティバスとスクールバスの相互利用について伺う。

教育部長

コミュニティバスにスクールバス

スの機能を持たせるのは難しい。

市長公室長

コミュニティバスは、令和4年度運行予定となっている。これから小中学校の適正配置が本格化し、関係機関・PTAとも十分協議したうえで、コミュニティバスとスクールバスの使い方を協議していきたい。

議員

高齢化が進み、運転免許証自主返納者も多く交通弱者が増えている。戦中戦後から懸命に働き60年70年税金を納めてきた方々、高齢になり移動手段が無くなった方々に温かい手を差し伸べるのが行政サービスではないか。

市長

2期目の公約でもあり、コミュニティバスは絶対必要だと感じている。コミュニティバス単独ではなくデマンドタクシーとの連結、スクールバス、民間の公共交通との連携が大事である。相当な予算がかかるが、福祉サービスということから、それを補填できる財源確保に向けて努力していく。

令和3年11月 随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件で次ページに掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第67号	令和3年度常総市一般会計補正予算（第5号）	補正予算の増額分 8,398万円 補正予算後の総額 262億3,177万1,000円	可決

《会議の欠席等の状況》 喜見山明 11/4本会議・議員全員協議会（欠席）

令和3年11月 定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件で次ページに掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第68号	常総市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める内閣府令が改正されたことに伴い、条例中の規定を整備するもの	可決
議案第69号	常総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴い、条例中の規定を整備するもの	可決
議案第70号	常総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	国民健康保険税の賦課方式について、現行の3方式から世帯別平等割額を廃止し、所得割額及び被保険者均等割額の2方式へ変更するとともに、その税率等の見直しを行うほか、法令改正に伴い必要となる改正を行うもの	可決
議案第71号	常総市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	産科医療補償制度における掛金の見直しを踏まえ、出産育児一時金の額を改める等の改正を行うもの	可決
議案第72号	指定管理者の指定について	常総市道の駅地域振興施設における指定管理者として、株式会社TTCを指定するもの	可決

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第73号	字の廃止及び町の区域の設定について	常総市常総インターチェンジ周辺地区土地区画整理事業の施工区域において、字を廃止するとともに、新たな町の区域を「むすびまち」として設定するもの	可決
議案第74号	水海道あすなろの里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	水海道あすなろの里ロッジ棟及びキャンプ場に係る指定管理者の指定に伴い、指定管理者が定める利用料金の基準となる使用料の額を見直すとともに、施設の使用許可手続を改める等の改正を行うもの	可決
議案第75号	常総市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例について	都市計画法施行令の改正に伴い、市街化調整区域において開発許可をすることができない区域として、浸水想定区域等を追加するほか、所要の改正を行うもの	可決
議案第76号 ～ 議案第88号	市道の路線の廃止について（3602号線、3777号線～3783号線、3796号線～3800号線）	県営菅生地区畑地帯総合整備事業の実施に伴い、事業区域内における道路が整備されたことから、新たに整備された道路を市道として認定することとし、当該事業区域内の既存の路線を廃止するもの	可決
議案第89号 ～ 議案第116号	市道の路線の認定について（6008号線～6035号線）	県営菅生地区畑地帯総合整備事業において新たに整備された道路について、市道として認定するもの	可決
議案第117号 ～ 議案第124号	市道の路線の変更について（3592号線、3593号線、3596号線、3598号線、3614号線、3601号線、3770号線、3795号線）	県営菅生地区畑地帯総合整備事業の実施に伴い、事業区域内における道路が整備されたことから、その始点および終点の位置を変更する必要があるもの	可決
議案第125号	令和3年度常総市一般会計補正予算（第6号）	補正予算の増額分 4億5,923万2,000円 補正予算後の総額 266億9,100万3,000円	可決
議案第126号	令和3年度常総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額分 3億211万5,000円 補正予算後の総額 56億192万6,000円	可決
議案第127号	令和3年度常総市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額分 340万7,000円 補正予算後の総額 2,027万7,000円	可決
議案第128号	令和3年度常総市下水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入は、一般会計からの補助金の増額を計上し、支出は減価償却費などを計上した 資本的収入は、企業債や出資金の減額を計上し、支出は人権費や大生郷特定公共下水道で予定していた耐水化計画策定業務関連経費を減額した	可決
議案第129号	令和3年度常総市一般会計補正予算（第7号）	補正予算の増額分 4億5,435万6,000円 補正予算後の総額 271億4,535万9,000円	可決
議案第130号	常総市議会会議規則の一部を改正する規則について	ペーパーレス会議システムを導入するうえで必要なタブレット端末を会議において使用できる規定を追加するもの	可決
請願第1号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願	コロナ禍における米の需要減少、米価下落等かつてない危機的事態のなか政府による対策を求める意見書を採択し、国に提出することを求めるもの	趣旨採択

《会議の欠席等の状況》

風野芳之 12/1本会議(欠席)

水野昇 12/6予算特別委員会(欠席)

喜見山明 11/24～12/10本会議・予算特別委員会・常任委員会・議員全員協議会(欠席)

※趣旨採択・・・願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもたず、不採択とすることもできない場合の決定方法。

令和3年11月 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しております。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しております。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	常総の志			未来					令明会				公明党		共産党		会派所属無し						
	関優嗣	倉持守	坂巻文夫	飯島忠	坂野茂実	小林剛	中村博美	風野芳之	中村安雄	佐藤剛史	広瀬光一	草間典夫	吉原晴照	柳井真吾	石塚剛	堀越道男	大澤清	遠藤章江	岡野一男	茂田信三	喜見山明	水野昇	
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	—	×

※議長は採決に加わらない

令和4年1月 随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で次ページに掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第131号	令和3年度常総市一般会計補正予算（第8号）	補正予算の増額分 11億2,432万1,000円 補正予算後の総額 282億6,968万円	可決

《会議の欠席等の状況》

喜見山明 1/7本会議・議員全員協議会(欠席)

風野芳之 1/7本会議・議員全員協議会(欠席)

審議結果

令和3年常総市議会（11月定例会議）が、11月24日から12月10日までの17日間の日程で開かれました。

今定例会議には、令和3年度一般会計補正予算を含む議案61件を市長が提出しました。

初日の本会議で提案理由の説明があり、後日、議案質疑を行い、各常任委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、議会から規則の改正を求める議案1件が追加提出され採決の結果、補正予算を含む62件が原案どおり可決されました。

また、請願1件については、趣旨採択となりました。

審議された主な議案は次のとおりです。

議案第72号 指定管理者の指定について

道の駅地域振興施設における指定管理者については、民間事業者が有する専門的知識や経営能力を活用し、柔軟なサービスの提供及び効果的な管理運営を図ることを目的とするもので、当市の公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の規定を踏まえ、選定委員会の審査を経て、株式会社TTCを選定した。これにより、道の駅の開業に向け、市が進める設計業務等において、検討・準備に参画するとともに、市と一体となって道の

駅の開業準備を行ってきた株式会社TTCを道の駅地域振興施設の指定管理者として指定することを求めたものであり、原案どおり可決された。

議案第73号 字の廃止及び町の区域の設定について

令和4年度中に換地処分を行う予定となっている常総市常総インターチェンジ周辺地区土地区画整理事業の施行区域内において、換地処分後に既存の字を廃止するとともに、新町界町名を「常総市むすびまち」に設定するものであり、原案どおり可決された。

請願第1号 新型コロナ禍による

米危機の改善を求める請願

コロナ禍における米の需要減少による販売不振や過剰在庫により米価下落に歯止めがかけられない現状から政府による対策が必要なため、関係機関へ意見の提出を求めたものである。しかし、請願の趣旨には賛同できるが、外国産米（ミニマムアクセス米）については、国際的に合意した協定に基づき輸入せざるを得ないものであり、輸入数量抑制を求めることは困難であるとの意見があったため、趣旨採択となった。

請願・陳情について

請願や陳情は、市民の皆様の要望や意見を、国や県、市政に反映させようとする役割を担っています。市議会では、市民の皆様の要望などを請願書や陳情書として受け付け、これらの審査を行います。

請願・陳情の提出は、いつでもできますが、定例会議開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会議において審査します。

審査の結果、その内容が妥当で施策に反映させるべきであると判断された場合は要望書や意見書を送付するなど、市長やその他の関係機関にその実現に向けて働きかけを行います。

請願や陳情の提出方法などについては、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

詳しくはこちら

請願と陳情

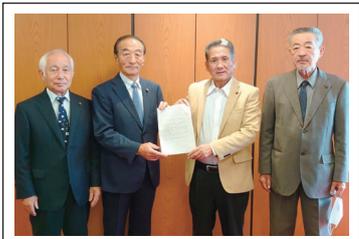


議会として要望書を提出!

令和3年11月26日、「水海道有料道路時間帯無料措置への協力に関する要望書」を坂東市議会、つくばみらい市議会へ提出しました。今後も水海道有料道路時間帯無料措置を継続していくため、特段のご支援とご協力を賜りますようお願いをいたしました。



つくばみらい市議会



坂東市議会



文教厚生委員会 所管事務調査

令和4年1月14日、小中学校適正配置実施計画の進捗状況について聴取を行いました。現在、市の教育委員会では、児童生徒数の減少に伴い、市内19校の小中学校を対象とした学校の適正配置について検討が進められています。

文教厚生委員会では、今回の調査において保護者の皆様のご意見や検討委員会の協議状況、今後のスケジュールなどを確認しました。学校教育・地域に果たす役割として非常に重要な問題であるため、今後も注視していきたいと思っております。



文教厚生委員会の様子

アグリサイエンスバレー 現地視察



事業地内「株式会社ムロオ」前

令和3年12月16日アグリサイエンスバレー事業について、議員有志による現地視察を行い、現在の工事の進捗状況などの説明を受けました。



議会タブレット端末 導入に向けての研修会

令和3年11月12日、市議会のICT活用の推進と議会資料のペーパーレス化に向け、タブレット端末導入研修会を実施しました。11月定例会議においてタブレット端末の持ち込みを許可し、従来の紙資料と合わせて試験的にデジタル版資料を活用した議会運営を行いました。

令和4年2月定例会議より本格的に運用を開始し、今後は議会資料の完全デジタル化を進めていきます。



常総橋百景



第五景
高度約100m
ドローンからの
撮影地 常総市菅生町
菅生大橋

投稿者
鈴木 正己様

県道3号（通称くば野田線）にかかる全長477メートルの「菅生大橋」です。平成16年7月に完成。それまでは橋の右側に並行して写る道路が3号線でした。橋下に広がる約500ヘクタールの広大な農地は利根川が危険水位に増水すると水没し、他地区の被害を防止する役目の遊水池です。従って、菅生大橋完成以前は3号線も水没し通行不能。雄姿「菅生大橋」の誕生で通行止めは解消されました。

常総橋百景 写真募集中!!

皆さまのご応募を
お待ちしております。
【議会事務局】
〒303-8501
常総市水海道諏訪町
3222-13
☎0297(2)0318

2月 定例会議(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
20	21	22	23	24	25	26
2月				本会議		
27	28	3月1	2	3	4	5
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問 議案質疑)	
6	7	8	9	10	11	12
	予算特別 委員会	予算特別 委員会	予算特別 委員会	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会 (分科会)		予算特別 委員会 本会議			

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



常総市議会 中継

LINE facebook 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



WEB



かけはし 広報委員会

- 委員長：岡野 一男
副委員長：石塚 剛夫
委員：草間 典夫
佐藤 剛史
関 優嗣
坂野 茂実
飯島 忠忠
柳井 真吾

議長のひとこと

11月定例会
議より議会改
革の一環と
して議会の
ペーパーレス化及びデジタル
化推進のため、タブレットを
導入いたしました。これによ
り、印刷費用の削減や資料作
成に係る作業労力の効率化に
努めることができるものと考
えております。

コロナ禍の中、新たな生活
様式への変化が加速しており
ます。議会としてもその変化
に対応し、市民の皆さんにと
って、今何が必要で、何が求
められているかに耳を傾け、
市政に反映させられるよう議
員一同日々努力してまいり所
存です。

今後も市議会の運営にご理
解賜りますようお願いいたし
ます。

常総市議会議長
中村 安雄